

平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社イトーヨーギョー  
代表者名 代表取締役社長 畑 中 浩  
(コード番号 5287 東証二部)  
問合せ先 人事総務室長 山 崎 智 彦  
(TEL 06-4799-8850)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 30 年 2 月 2 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,544	55	60	250	84.05
今回修正予想 (B)	2,687	19	26	212	71.18
増減額 (B - A)	143	△36	△34	△38	—
増減率 (%)	5.6	△65.5	△56.7	△15.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	2,589	45	54	△195	△65.56

(2) 修正の理由

コンクリート関連事業におきましては、関東・東北地区での需要による受注が順調となり、当社製品の中で特に付加価値の高いライン導水ブロックを中心とした道路製品が堅調に推移し、また、環境対策製品であるヒュームセプターにおきましても、高速道路関連事業や民間施設の環境対策として好調に推移いたしました。建築設備機器関連事業におきましては、第 1 四半期で発生した一部の工事案件におけるコスト高による利益率の低下が影響したものの、第 2 四半期以降は中・大型案件の公共事業案件を中心に堅調に受注いたしました。これらの結果、売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

しかしながら、全社を通して原材料費の高騰や、生産・建築現場における人材不足に伴う人材確保の影響が下期にかけて予想以上に大きく、高原価率で推移したことから、全社の利益を押し上げるまでにはならず、営業利益、経常利益については前回発表予想を下回る見込みとなりました。当期純利益におきましては、平成 29 年 12 月 21 日付で開示いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社保有不動産の譲渡による特別利益計上を含んでおります。

これにより、平成 30 年 3 月期通期の業績予想数値を修正するものであります。

なお、上記でご説明いたしました高原価率の各種要因につきましては、現時点で改善しております。また、期末配当金につきましては、1 株当たり 8 円となる予定であり、変更はございません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上